(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	羽島市立中央小学校
実 施 期 間	平成26年10月30日(木)~11月15日(土)
実施概要	 教育活動の公開 観劇会、鑑賞会 情報の講演会 地域の方への各学年の発表、地域講師から学ぶ地域ふれあい活動
実施内容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 □産業 ■その他
	公開の方法 ■授業公開 ■成果発表 ■交流活動 ■講演会等 □地域行事等参加 □その他
来校者数	保護者 1,300 人 地域関係者 165 人
実施 状況	 朝の会から帰りの会までのすべての教育活動を保護者に公開した。 劇団むすび座による「地獄八景亡者戯~じんたろうと眠りの竜の巻~」の観劇を保護者とともに参観した。 携帯電話やゲーム機の正しい使い方について、市教育委員会の方から、子どもたちや保護者に講演をいただいた。 各学年の学習発表を地域の人に見てもらったり、地域の方を講師として、福祉・環境・造形、絵画などを教えてもらったりする地域の方とのふれあい活動を行った。また、地域の方の作品を展示したふれあい作品展や地域の方によるふれあいレストランを開いた。 羽島市文化センターの協力を得てアウトリーチ(出前演奏会)をガナの和太鼓とマリンバの演奏を保護者とともに鑑賞した。
成果及び課題	 保護者は、学校での授業や掃除、遊びなどの様子を分かり参考になったというご意見をいただいた。 子どもたちも保護者も芸術や文化に親しむことができた。 携帯やゲーム機の正しい使い方について、保護者や子どもたちが学ぶことができた。 地域の方からは、学校での学習の歩みを知ることができ、子どもたちを含め学校とのかかわりをもつことができたという感想をいただいた。子どもたちは、自分たちの学習の歩みに対する自信をもつことができ、今後の課題を明らかにすることにつながった。また、地域の方から学んだり作品を見たりすることで、地域の方への尊敬や感謝の念をもつことができた。